

日本史で8割とるには、まず日本史の大枠を理解しなさい、歴史の流れや人の名前がスムーズに入るでしょう。日本史筆記試験になると、与えられた史料から情報を読み取る能力、まとめる能力までが要求されます。

## 日本史の大枠

- 大和時代 森の縄文文化と農耕の弥生文化の融合した神話の世界に、大王が台頭し、支配体制として伝統を守る物部氏と仏教を取り入れる蘇我氏が対立した。
- 飛鳥時代 大王の中から推古天皇が現れた、天皇を中心とする中央集権国家である。蘇我氏を排斥し、公地公民制への大化の改新。
- 奈良時代 大陸から輸入した貴族による律令国家である。聖武天皇による鎮護国家の東大寺大仏。藤原氏による他氏排斥の道鏡追放。
- 平安時代 仏教による政治支配を刷新するために京都へ遷都した。天皇の外戚（母方の親類）となり藤原北家による摂関政治と天皇の内戚（父方の親類）となる院政。
- 鎌倉時代 農民から出た初の武家政権である。坂東武士の筆頭である北条家が執権政治を行う。時宗のとき二度にわたる元寇を乗り切ったが、命がけで闘った武家たちに報奨を与えることが出来ず政権は崩壊していく。
- 室町時代 守護大名による連合政権である。義満のとき南北朝統一と勘合貿易。義政の後継者争いから応仁の乱で京都市は荒廃し戦国乱世へ、応仁の乱が日本の歴史の最大の分水嶺となる。
- 江戸時代 関東武士による幕藩体制である。武断政治から文治政治。享保・寛政・天保の三大改革と新井白石・田沼意次による二度の改革。享保は定免法（年貢の取れ高を一定化）と上米の制（藩から幕府へ米を上納）。寛政は寛政異学の禁（政治思想を弾圧）。天保は上知令（藩から幕府へ土地を上納）で失敗。新井白石は正徳の治を行い、海舶互市新例（長崎貿易を制限）。田沼意次は緊縮政策を転換し株仲間など商業を盛んにした。
- 明治時代 アメリカ・英国・フランスによる「近代兵器による市民を巻き込んだ戦争」が日本に輸入、あらゆる面で急激な変化を要求された。廃藩置県によって中央集権化すると共に幕藩体制の多様さから多くの人材が供給され、日本人の勤勉さと適応力から科学技術を含む多様な文化を取り入れた新生日本の姿が現れてくる。